

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和5年度 要望・回答
東日本旅客鉄道 京浜東北・根岸線

番号	要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上			
1 駅施設等の整備			
(1)	関内駅の利用者の安全性確保、利便性向上を図るための駅施設等の整備	JR関内駅は、横浜スタジアムの最寄駅であるとともに、横浜都心部の玄関口の1つとして、1日の乗降客数が約9万人(令和4年度実績)と多くの方々が利用されています。 南口周辺では市庁舎移転を契機として、横浜文化体育館の再整備、教育文化センター跡地の活用、旧市庁舎街区の活用、港町民間街区における再開発など、JR関内駅南口周辺を含めた関内・関外地区において、新たなまちづくりを推進しているところです。 これにあわせて、関内・関外地区の回遊性強化やバリアフリー化など、駅周辺のまちづくりと連携した駅舎改良について要望いたします。	関内駅南口においては、市庁舎移転等の新たなまちづくりとあわせて、駅舎改良等について関係自治体と協力してまいります。
(2)	桜木町駅及び東神奈川駅のホームドア全線整備	桜木町駅及び東神奈川駅については、1、4番線にホームドアが設置され、鉄道利用者のプラットフォームからの転落や走行する列車との接触の防止等に寄与していますが、残る2、3番線については整備がされていません。両駅は視覚障害者利用施設の最寄り駅であり早期整備を望む声があることから、特に早期のホームドアの整備完了を要望いたします。	ホームドアの設置については、2023年4月13日付プレスで公表しております内容の通り、東京圏在来線の主要路線について、2031年度末頃までの整備を目指してまいります。 桜木町駅及び東神奈川駅についても、引き続きホームドア整備完了に向けた検討を進めてまいります。